

実際の授業から流れを読み取ろう! III

【前回からのつづき…】

展 開

課題設定 II

では、課題 I で示した 3 つの大学の順位変動表を使って、課題 II のワークシートに折れ線グラフを書いてみよう

【課題 II】

順位変動表から、A,B,Cの大学の順位の変化をグラフ用紙に折れ線グラフに書いてみましょう。

また、これらの折れ線グラフから、新たに気付いたことをワークシートに書きましょう。

まずは、1つのグラフ用紙に折れ線グラフを3つ書いてみましょう。
次に新たに気付いたことをワークシートに書いてください。

どうしてそのように気付いたのかを説明できるように書いてください。

自 力 解 決

集 団 解 決

自力解決から集団解決へと
思考の深まりの手順が進め
られています

それでは、3人の班になりましょう。

1人1分間ずつで自分の考えを発表して行ってください。司会者、質問者や助言者もお願いします。

班の友達の見意見を聞いて分かったことや考え直したことをワークシートの右側上を書いてください。

全 体 共 有

各班発表してください。なぜ、そのように気付いたのかも説明してください。

C : グラフを書くと、たくさん抜いた時や抜かれたときは折れ線グラフの傾きが急になる。

C : 順位が変わらないときには、横にまっすぐになる。

皆さんが発表してくれたことの中で、折れ線グラフに書いたことで、その傾きは何を表しているのでしょうか？

C：傾きは順位の変化を表している。

まとめ

では、発表してくれたことを使ってまとめましょう。

《子供の言葉を拾い集める》

[まとめ]

折れ線グラフに表すと、そのグラフの傾きをみれば順位の変化がすぐ
にわかることができる

《まとめをうつす》

めあての言葉につながっていることが大事

まとめが写せた人から、最後に振り返りを書きましょう。

《振り返りの発表》

実際の授業と照らし合わせてみて、「導入→展開→まとめ（振り返り）」が明確になっていることが確認されたでしょうか？授業の基本スタイルではあるのですが、日常の授業ではなかなか実現していないことが多いのではないのでしょうか？いわゆる展開のみの授業が作られているのかなと思います。導入でしっかりと学習に対する意欲喚起をさせるということが、まずこれから目指すべき授業スタイルにつながってくるのだと思います。「主体的な学び」を進めるために、一番大事な子供の意欲が備わっていないと実現することはできません。いかに本時の授業に対して興味を抱かせることができるか！それが導入の重要なところですよ。そして、「まとめ」の時間を必ず設定することです。1時間授業を行っても、子供にとっては「今日の授業は何を言いたかったんだろう…」と疑問に終わるようでは意味がありません。特に「学びあい」を取り入れた授業だと、「活動あって学びなし」に陥らないとも限りません。どうしてこのような活動をしてきたのか、そのことを子供の心にストンと落とし込むことが「まとめ」の時間になります。そして、このまとめの時間があることが子どもの基礎学力の定着につながってくるのです。教師は、授業が活性化すると成功だと感じるかもしれませんが、学力定着のためには「まとめ」を大事にすることです。ぜひいぶん変わって来るとおもいます。

この2つをきっちり設定したうえで、「展開」をどう工夫していくのかにつながってくるといえます。「学びあい」の研究の中心はこの「展開」場面になるわけです。子供につけたい力（本時の Goal）に導くために、どのように展開を工夫していくのかが味噌となるわけです。

先日の原先生の授業はこのことが実現されていました。改めて紹介する場面を設けていきたいとおもいます。

・・・ to be continued ・・・